

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04117-1	総合環境研究センター事業	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務	款 衛生費
②基本体系	施策の方向	01:環境負荷の少ない社会の形成	科	項 保健衛生費
	戦略プロジェクト		目	目 環境衛生費

②目的・概要	対象	市民、学識経験者、企業
	目的	行政、市民、学識経験者、企業などの各主体の連携・協働のもと、本市の自然的社会的特性に応じた施策を策定し、実施するために、また、環境諸問題に取り組んでいくために、時代を先取る有効な環境政策を研究、立案する。
概要	自然的社会的特性に応じた施策を策定し、実施するため、行政と市民、学識経験者及び企業との連携により、地域に根ざしたニーズに取り組む(1) 環境施策の企画及び研究に関する事。 (2) 環境施策の啓発、情報発信及び人材バンクに関する事。 (3) 環境施策に伴う事業者との連携に関する事。 (4) 環境教育に関する事。 (5) 地域連携活動及び国際連携活動に関する事。 (6) その他(1)~(5)に関連する環境分野以外に関する事。	

			27年度	28年度	
③指標	①	名称	亀山市民大学キラリの開講	計画値	
		補足	開講回数	実績値	6
	単位			回	5
	②	名称	亀山市民大学キラリ「特別講演会」の開催	計画値	
補足	開講回数	実績値	1	2	
単位			回	回	
③	名称	市内中学校出前講座(1年生対象)	計画値		
	補足	開講回数	実績値	3	
単位			回	回	
④	名称	キラリ通信	計画値		
	補足	発行回数	実績値	2	
単位			回	回	

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績				亀山市民大学キラリ参加述べ人数:785人(内「特別講演会:600人) 出前講座(環境講演会1回、市内中学校3校各1回)への参加述べ人数:459人 関宿街道まつりへのブース出展「エコライフ診断」実施 参加述べ人数57人 みえ環境フェア2015へのブース出展 参加述べ人数500名 HP、三重テレビでの情報発信				
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③	
	国庫支出金		4,000	4,000	一般職員人件費 ②	3,662		
	県支出金				所要人員 ③	0.50		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		4,000	4,000	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	3,662			
	総コスト		⑥	7,662				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市民総合環境研究センター事業への参加述べ人数:1,801人 ・研究センターを中心とし、産学民官の連携による環境教育を実施した。(中学校出前講座・シャープ工場見学など) ・くらしのアドバイザー養成に加え、25年度より、いのちを守るアドバイザーの養成講座を開講し、地域で活躍できるいのちを守るアドバイザーの養成に努めた。 	B まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】
	従前からの課題として、平成29年度からの第2次総合計画を見据え、①センター設置の目的・位置づけ(存続も含め)、②シンクタンク機能の位置づけ、③市の拠出金のあり方・内容、④市民大学キラリと生涯学習との関係について、整理をする必要があった。

⑤事業の評価	【改善の方向性】
	①について、センターは当面(第2次総合計画前期基本計画第1次実施計画期間:平成29~31年度)存続することとし、②について、三重大学との相互友好協力協定の初心に立ち返り必要に応じて大学と本市が協力することとし、③について、市の事業予算としてその内容をさらに精査し、④について、生涯学習面からの再構築を図ることとした。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 環境保全室長 石垣 忠
--------------	---------	----------------------